

平成27年度  
地域の“まちづくりびと”養成講座  
入門編

# またまた大作戦

まちの歩き育て方

## 第2回

### 『まちの探検・発見・ほっとけん』

日程：平成27年12月6日（日）

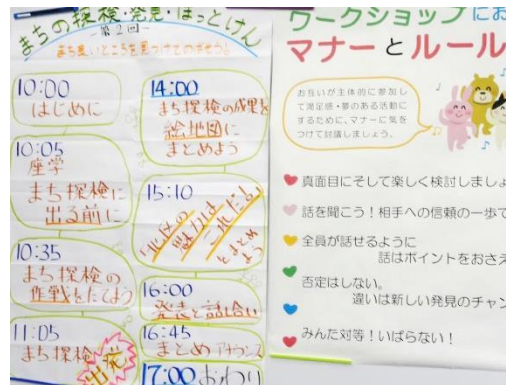
時間：10時00分～17時00分

場所：愛知学院大学

名城公園キャンパス

12月6日の朝、北区の愛知学院大学名城公園キャンパスにて「平成27年度 地域の“まちづくりびと”養成講座 入門編」の第2回講座が開催されました。

この講座は講師の名畑恵さんと名古屋都市センターの養成講座修了生である「まちづくりびと」、北区役所、当センターで実行委員会をつくり、講座全体の企画・運営を行っています。



#### ■前回の講座のふりかえり

講師の名畑さんより、前回のふりかえりが行われ、受講生の講座受講への所信表明を共有しました。また、前回のように実践から定義を生むことを「共有知」といい、みんなで考え、得た知識は心に残り、まちづくりの大事な流れであると伝えました。

#### ■座学“まち探検に出る前に”

まち歩きに出発する前に、まちの魅力の発見の仕方やまちを見る際の視点などについて、講師と北区役所まちづくり推進室の棚橋主査から話しがありました。

講師からは、中区長者町で作製した「長者町カルタ」の事例をもとに、どんなものがまちの宝として札になっているか話がありました。例えば、「都市の花」と書かれた絵札には、地域の方がコンクリートの割れ目から生えたスミレなどを、愛着を持って残されていたことが札になったもので、小さなことに目を向け、大切に思う心が「まちの宝」となると話されました。また、「一刻も早く救援へ 伊勢湾台風」と書かれた絵札にはおにぎりが載っていました。那古野台地の高台にあった長者町では被害は少なかったが、得意先の安否を心配し、被災地までおにぎりとお水を入れて、連日救援に向ったとの話があったそうです。

「まちの人の声がまちの宝となり得る」と積極的にインタビューしてほしいこと、まちあるきのルールとして「何もない、つまらないは言わない」とポジティブにまちを探索することが伝えられました。



講師による長者町カルタの解説

棚橋さんからは、北区でまちの魅力を発信する取り組み事例について紹介がありました。北区民へ北区の魅力について紹介できるかアンケートを取ったところ、紹介できると回答した方が16%しかいなかったそうです。そのため区役所では、昨年度から「わたしのスキが北区の名所に！」という企画を実施し、市民から様々な魅力を募集しています。

北区には眠った魅力が数多くあるため、今回の講座で様々な魅力を発見してほしいと話しました。



北区役所の取り組みを解説する棚橋さん

### ■まち探検出発！

第1回講座で決めた5つのグループ毎にまち探検を行いました。それぞれ異なったエリアで、行ってみたい場所やおおまかなルートを決め、まちの宝や課題、地域の方へのインタビューを書き込める「まち探検手帳」を持って出発しました。

約3時間のまち探検では、実際に歩いてみて気づくことや各々異なった視点でまちを観察され、それに新たな気づきを通して、様々なまちの魅力や課題を発見することができました。



まち探検で撮影された写真やまち探検の様子

### ■まち探検の成果を絵地図にまとめよう！

まち探検で歩いたルートや撮影した写真、まち探検手帳に記載したまちの魅力や課題、インタビューの記録や魅力を育てる提案を大きな絵地図に記入・貼付け、グループ内で共有しました。受講生や各エリアを歩いたグループごとに個性的な提案が書かれていました。



まち探検の情報を絵地図に整理する様子

## ■「北区の魅力はこれだ！」をまとめよう

まとめた絵地図をもとに、まち探検での発見や提案などを厳選し、箇条書きにしてまとめ、「北区の魅力はこれだ！」のわくわくするキャッチフレーズをタイトルにして作成しました。まち探検の成果をどのように活かし、まとめていくか知恵を絞られていました。



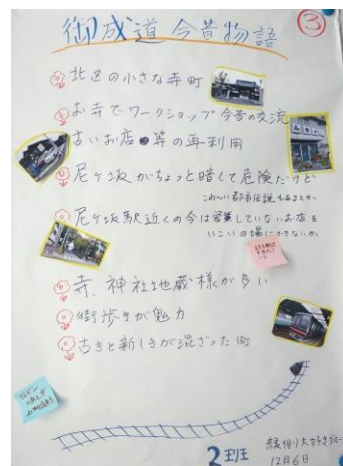
北区の魅力をまとめる様子

## ■発表

ワークショップで作成したまち探検の絵地図と「北区の魅力はこれだ！」の発表を行いました。その後、受講生がよかったと思うグループへ投票し、なぜそのグループに投票したのかを共有しました。講師からは、まちづくりは少数派の意見に真理があり、票数が少ないグループでも、まちや住んでいる人の魅力に目を向け、必要な要素をまとめていると話がありました。

### 「縁側大好きグループ」

瀬戸電沿線を探索し、“御成道 今昔物語”というタイトルで発表されました。寺社仏閣が多い寺町であり、古さと新しさが混ざった町のため、お寺や今は営業していないお店を活用したワークショップをとおして、今昔の交流や憩いの場としての開放、街歩きの実施など、北区の区界を歩いて見つけた課題や魅力をまとめました。

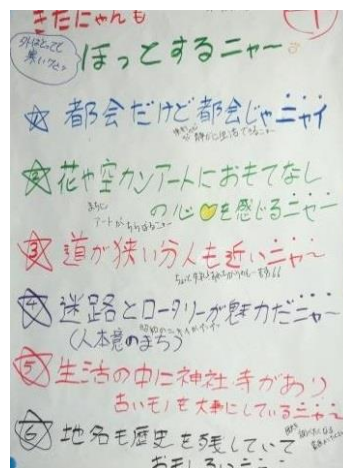


縁側大好きグループのワークショップの成果

### 「きたにゃん」

北区の大杉町周辺を猫の視点で魅力を探検し、“きたにゃんもほっとするニャ〜”というタイトルで発表されました。都心だけど静かに生活できて「都会だけど都会じゃニヤイ」、軒先に花が飾られ「花や空カンアートにおもてなしの心を感じるニャー」、狭い道が多い分、人と近く感じ「道が狭い

分、人も近いニャ〜」、昭和の雰囲気が漂う「迷路とロータリーが魅力だニャ〜」、「生活の中に神社・寺があり、古いモノを大事にしてるニャ〜」、「地名も歴史を残しておもしろいニャ〜」と挙げました。



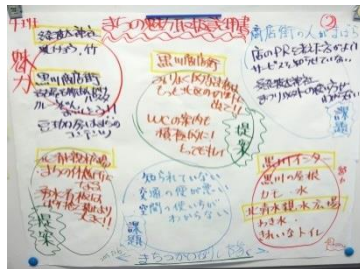
きたにゃんのワークショップの成果

## 「まちつかい倒し隊」

地下鉄黒川駅の沿線エリアを探索し、“まちの魅力取扱説明書”というタイトルで発表されました。魅力として多奈波太神社やお店が立ち並び黒川商店街、黒川インターや渡り鳥が留まり、湧水がキレイな北清水親水広場を挙げ、課題には地域を知られていないことなどを挙げました。ポイ捨ての看板

より湧水看板を大きくPR、

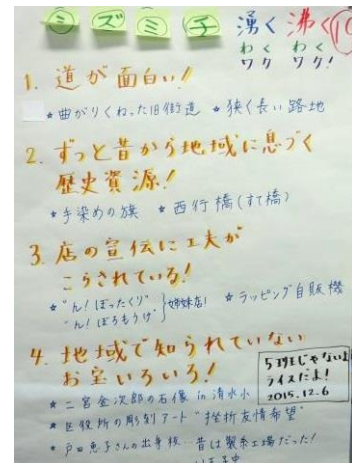
とても清潔なトイレなどを積極的にアピールした、まちの魅力取扱説明書をつくりたいと提案されました。



まちつかい倒し隊のワークショップの成果

## 「5班（ごはん）じゃないよ、ライスだよ」

昔の水脈の名残があるエリアを探索し、“ミズミチワクワク”というタイトルで発表されました。曲がりくねった旧街道や狭く長い路地があり道が面白い、昔から地域に息づく歴史資源、店の宣伝に工夫がされている、地域に知られていないお宝がたくさんあることを発見しました。4つの宝をもとにみんなが探検したくなるような宝地図を考えたいと提案されました。

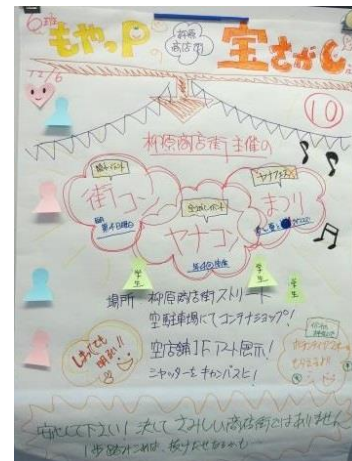


5班じゃないよ、ライスだよのワークショップの成果

## 「もやもやハッピー」

柳原通商店街周辺を探索し、“もやっPの宝探し”というタイトルで発表されました。シャッターが所々閉まっていて段差の多い商店街で、お店の方にインタビューしたところ「人が来ないから店を開けてもしょうがない」などの声がありました。そこで、今続いている祭りに昔は行われていたサンバを復活させた「ヤナフェス」、

老若男女の出会いが楽しくなる「街コン」、まちに隠された宝を探す「ヤナコン」とおして、シャッターが閉まっている商店街に様々な人が関わり、横のつながりをつくりたいと提案されました。



もやもやハッピーのワークショップの成果

## ■まとめ

講師より、発表を通じたまちづくりの重要なキーワードを示しました。

### ★北区の魅力発信11か条★

#### ●北区の魅力

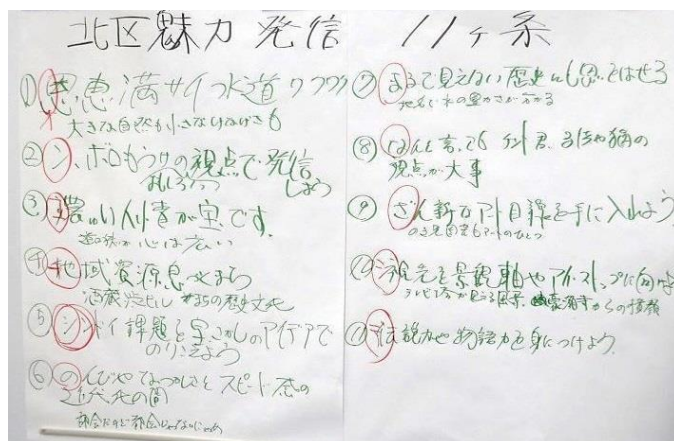
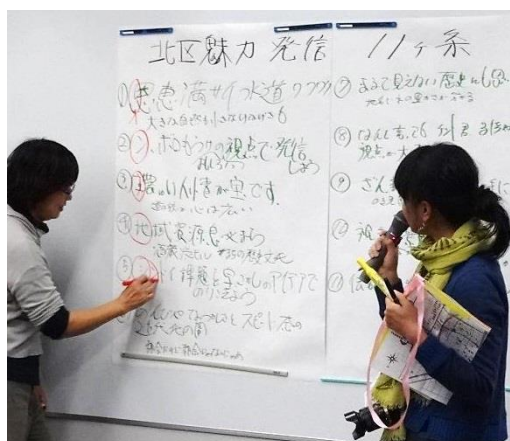
- ① **恵**まんさい！ミズミチ湧く沸く！～大きな自然も小さなけなげな花も～
- ② **ん**！ぼろもうけ のおもしろい視点で魅力を発信しよう！
- ③ **濃**い人情が宝です！～ kannさん、きた川さんなど。道は狭いが心は広い～
- ④ **地**域資源息づくまち～酒蔵、渋ビル、なんといっても歴史文化
- ⑤ **しん**どい課題を宝さがしのアイディアでのりこえよう  
～シャッター街、空家、少子高齢化等、給食サービスで助け合いもある～
- ⑥ **の**んびり懐かしさと、スピード感の近代化の間  
～“都会だけど都会じゃニヤイ” 便利さも長屋のメロウも混ざりあう～

#### ●発見の仕方

- ⑦ **ま**るで見えない歴史にも思いをはせる～地名で水の豊かさが分かる～
- ⑧ **な**んといってもケント君！子どもやネコの視点が大事
- ⑨ **ざ**ん新なアート目線を手に入れよう！  
～黒川インターはまちの軒下！軒先園芸も看板もアート～
- ⑩ **視**線を景観軸やアイストップにむけよう！  
～路地の先の発見！テレビ塔の見える風景！豪潮寺から見える普光寺の大仏の横顔～
- ⑪ **で**ん説力や物語力をつけよう  
～水子地蔵の包容力に魅了され、稲置街道の改修蔵で居酒屋やろう！～

また、そのキーワードの頭文字をつなげて読む頭韻要約法を用いて「温故知新のまなざしで」とし、古い歴史や文化の大事なところを見ながら、温かい心が通ったまなざしでまちの新たな見方が発見されたと話しました。

最後に、次回講座の案内やアンケートの記入を行い、第2回の講座を終了しました。



第2回講座のキーワード